

「地理探究」(地探 701) 年間指導計画にもとづく評価規準例

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
第1編第1章 第1節	世界の地形	4月	7	・地図や景観写真、衛星画像、模式図などの読み取りを通して、人間の生活の基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解している。	・世界の大地形や小地形の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・地形と人間生活との関係について、その形成過程や特徴を踏まえながら、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○人間の生活の基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解する。
	1 地形をつくる力			・衛星画像や模式図を用いて、地球表面の起伏の状態について理解している。	・地形の形成要因について、内的営力、外的営力との関わりから考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・地球表面の起伏の状態とその形成要因について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○衛星画像や模式図を用いて、生活環境の基盤となる地形の重要性、地球表面の起伏の状態とその形成要因について理解する。
	2 プレートの運動とさまざまな境界			・地図や衛星画像の読み取りを通して、大地形の分布の特徴について理解している。	・大地形の分布の特徴について、プレート境界や地震帯・火山帯分布との関わりから考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・大地形の分布の特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地図や衛星画像を用いて、世界の大地形の分布の特徴についてプレートテクトニクスとの関わりから理解する。
	3 変動帯の地形			・景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯の特徴について理解している。	・変動帯の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・変動帯の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○景観写真や模式図を用いて、変動帯の特徴とその形成をプレート運動との関係からとらえるとともに、人間生活との関係について理解する。
	4 安定地域の地形			・景観写真や模式図の読み取りを通して、安定地域の特徴について理解している。	・安定地域の形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・安定地域の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○景観写真や模式図を用いて、安定地域の特徴と人間生活との関係について平野と山地の側面から理解する。
	5 河川がつくる地形			・景観写真や模式図の読み取りを通して、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴について理解している。	・変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や形成過程を考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○景観写真や模式図を用いて、変動帯にみられる小地形の一つである河川がつくるさまざまな地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。
	6 海岸と海にみられる地形			・景観写真や模式図の読み取りを通して、さまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の特徴について理解している。	・さまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の形成過程について考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・さまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○景観写真や模式図を用いて、さまざまな海岸地形、サンゴ礁地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。
	7 気候や地質の影響が強い地形			・景観写真や模式図の読み取りを通して、氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴について理解している。	・氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の形成過程について考察し、その特徴を踏まえながら、人間生活との関係について表現している。	・氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○景観写真や模式図を用いて、氷河地形や乾燥地形、カルスト地形の特徴や形成過程、人間生活との関係について理解する。
自然災害 I 地震と津波			・地図や景観写真の読み取りを通して、地震と津波がもたらす被害の状況について理解している。	・地震と津波被害の発生メカニズムについて多面的・多角的に考察している。	・地震と津波の発生メカニズムや被害の状況について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地図や景観写真を用いて、地震と津波の発生メカニズムや被害の状況について理解する。	
第2節	気候と自然環境	5月	4	・模式図や主題図などを用いて、地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因についての理解を踏まえ、気候の特徴について理解している。	・気候の特徴と植生、土壌との関係について多面的・多角的に考察している。	・気候の特徴と植生、土壌との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因について認識するとともに、気候の特徴と植生、土壌との関係について理解する。
	1 気候の見方			・模式図や主題図を用いて、気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解している。	・気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について多面的・多角的に考察している。	・気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○模式図や主題図を用いて、気候の形成要素である気温と降水量の世界的な分布の特徴について理解する。
	2 大気循環と気候			・模式図や主題図を用いて、大気循環による風の流れる特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、気候環境形成の要因について理解している。	・大気循環による風の流れる特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、気候環境形成の要因について多面的・多角的に考察している。	・大気循環による風の流れる特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、気候環境形成の要因について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○模式図や主題図を用いて、大気循環による風の流れる特徴と、それによって形成される降水量分布の特徴から、気候環境形成の要因について理解する。
	3 海洋と陸水			・模式図や主題図を用いて、海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解している。	・海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察している。	・海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○模式図や主題図を用いて、海洋と陸水における水の循環が、気温分布や水資源の維持に影響を与えていることについて理解する。
	4 世界の植生・土壌			・模式図を用いて、世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について理解している。	・世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について多面的・多角的に考察している。	・世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○模式図を用いて、世界規模での各気候帯の分布の特徴、各気候帯と植生・土壌との対応関係について理解する。
第3節	気候と人々の生活		6	・雨温図やハイサーグラフの作成・読み取り、景観写真の読み取りなどを通して、気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて認識するとともに、人間生活との関係について理解している。	・気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・各気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○気候区の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候区の特徴を踏まえて認識するとともに、人間生活との関係について理解する。
	1 ケッペンの気候区分			・各気候区の特徴を踏まえて理解を前提に、雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区について理解している。	・雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○各気候区の特徴を踏まえて理解を前提に、雨温図やハイサーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区について理解する。
	2 熱帯の特徴と人々の生活			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、熱帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・熱帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・熱帯の各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、熱帯の各気候区の特徴やそこの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	3 乾燥帯の特徴と人々の生活			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・乾燥帯の各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、乾燥帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。
	4 温帯の特徴と人々の生活(1)			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、温帯東岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・温帯東岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・温帯東岸の各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、温帯東岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。
	5 温帯の特徴と人々の生活(2)			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、温帯西岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・温帯西岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・温帯西岸の各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、温帯西岸の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。
	6 亜寒帯(冷帯)・寒帯と人々の生活			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、亜寒帯(冷帯)・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・亜寒帯(冷帯)・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・亜寒帯(冷帯)・寒帯の各気候区における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、亜寒帯(冷帯)・寒帯の各気候区の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。
	7 高山気候の特徴と人々の生活			・雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、高山気候の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解している。	・高山気候の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・高山気候における人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○雨温図やハイサーグラフ、景観写真を用いて、高山気候の特徴やそこでの生活・文化、生じている諸課題について多面的・多角的に理解する。
	自然災害Ⅱ 異常気象と気候変化			・写真を用いて、異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について理解している。	・異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。	・異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○写真を用いて、異常気象と気候変化によってもたらされる自然災害の被害状況について理解する。
第4節	日本の自然環境と自然災害	6月	2	・主題図や航空写真、雨温図やハザードマップなどを用いて、日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理する。	・今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で、防災・減災へ向けた取り組みについて多面的・多角的に考察する。	・今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で、防災・減災へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理した上で、防災・減災へ向けた取り組みについて模索する。
	1 日本の地形と自然災害			・主題図や航空写真を用いて、日本の地形の特徴について把握するとともに、写真や模式図を用いて自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解している。	・日本の地形の特徴を踏まえ、さまざまな自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について多面的・多角的に考察する。	・日本の地形の特徴を踏まえ、さまざまな自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や航空写真を用いて、日本の地形の特徴について把握するとともに、写真や模式図を用いて自然災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。
	2 日本の気候と自然災害			・主題図や雨温図を用いて、日本の気候の特徴について把握するとともに、衛星写真や模式図を用いて気象災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解している。	・日本の気候の特徴を踏まえ、気象災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について多面的・多角的に考察する。	・日本の気候の特徴を踏まえ、気象災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や雨温図を用いて、日本の気候の特徴について把握するとともに、衛星写真や模式図を用いて気象災害の発生要因とそれが人々の生活にもたらす影響について理解する。
	3 自然災害と防災・減災の取り組み			・ハザードマップ等を用いて、防災・減災へ向けた自然災害対応のための取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解している。	・防災・減災へ向けた取り組みについて模索するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について表現している。	・自助、共助、公助の観点から防災へ向けた取り組みの重要性について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○ハザードマップ等を用いて、防災・減災へ向けた自然災害対応のための取り組みについて把握するとともに、自助、共助、公助の観点からその取り組みの重要性について理解する。
第5節	世界の環境問題		4	・主題図や模式図、写真などを用いて、地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に理解している。	・地球規模での環境問題の現状について考察するとともに、有限な地球環境を持続的に利用するための取り組みについて表現している。	・地球規模での環境問題を踏まえ、有限な地球環境を持続的に利用する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に把握するとともに、有限な地球環境を持続的に利用するための取り組みについて模索する。
	1 地球規模の環境問題			・主題図を用いて、地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりを踏まえた上で理解している。	・地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりから考察する。	・地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、地球規模で生じるさまざまな環境問題とその分布の特徴について、スケールの大小や南北問題との関わりを踏まえた上で理解する。
	2 地球温暖化の背景と影響			・主題図や模式図、写真を用いて、地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて理解している。	・地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて考察するとともに、持続可能な社会の在り方について表現している。	・地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、地球温暖化の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について模索する。
	3 オゾンホール、大気汚染の背景と影響			・主題図や模式図、写真を用いて、オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて理解している。	・オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて考察するとともに、持続可能な社会の在り方について表現している。	・オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、オゾンホールや大気汚染の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について模索する。
	4 森林破壊の背景と地域性			・主題図や模式図、写真を用いて、森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて理解している。	・森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて考察するとともに、持続可能な社会の在り方について表現している。	・森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、森林破壊の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について模索する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	5 砂漠化・水問題の背景と地域性			・主題図や模式図、写真を用いて、砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについて理解している。	・砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みを踏まえ、持続可能な社会の在り方について表現している。	・砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みを踏まえ、持続可能な社会の在り方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、砂漠化や水問題の現状、発生の背景・要因とそれによってもたらされる影響、問題解決のための国際協力の具体的な取り組みについての理解を踏まえ、持続可能な社会の在り方について模索する。
	6 日本の環境問題			・主題図や模式図、写真を用いて、日本の環境問題の歴史的な経緯と現状について理解している。	・日本の環境問題の歴史的な経緯について考察するとともに、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について表現している。	・日本の環境問題の歴史的な経緯と現状、問題解決のための具体的な取り組みを踏まえ、持続可能な社会の在り方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、日本の環境問題の歴史的な経緯と現状について把握するとともに、問題解決のための具体的な取り組みと持続可能な社会の在り方について模索する。
第1編第2章第1節	産業の発展と社会的分業	7月	1	・主題図や絵画、グラフや模式図などを用いて、産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを把握するとともに、それが地球的規模で広がっていることを理解している。	・産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを地球的規模に立脚しながら考察している。	・産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることについて、地球的視野に立脚しながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを把握するとともに、それが地球的規模で広がっていることを理解する。
	1 産業の変遷			・主題図や絵画、グラフを用いて、産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解している。	・産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について多面的・多角的に考察している。	・産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や絵画、グラフを用いて、産業の変遷過程、それに伴う産業の高度化とその社会的背景について理解する。
	2 産業構造と地域構造			・主題図や模式図を用いて、産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について理解している。	・産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について多面的・多角的に考察している。	・産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図を用いて、産業構造の変化に伴ってもたらされる産業立地や地域構造の変化の特徴について理解する。
第2節	農林水産業		5	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、農林水産業の立地とその形態について地域性との関わりから把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を超えて産地と消費地とを結びつけていることを理解している。	・農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通じた国境を超えた産地と消費地との結びつきについて多面的・多角的に考察している。	・農林水産業の立地とその形態、アグリビジネスの活動を通じた国境を超えた産地と消費地との結びつきについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○農林水産業の立地とその形態について地域性との関わりから把握するとともに、アグリビジネスの活動が国境を超えて産地と消費地とを結びつけていることを理解する。
	1 農業の立地と形態			・主題図や模式図、写真を用いて、農業立地の成立要因について自然条件、社会条件、市場条件などとの関わりから理解している。	・農業立地の成立要因について自然条件、社会条件、市場条件などとの関わりから考察している。	・農業立地の成立要因について自然条件、社会条件、市場条件などとの関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、農業立地の成立要因について自然条件、社会条件、市場条件などとの関わりから理解する。
	2 世界のさまざまな農業地域			・主題図や模式図を用いて、農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから理解している。	・農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから考察している。	・農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図を用いて、農業の成立・発展過程とその社会的背景について三つの変革との関わりから理解する。
	3 グローバル化と農業地域の変容			・主題図や模式図、グラフや写真を用いて、現代農業の特色についてフードシステムの観点から把握するとともに、グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ、アジアを例に理解している。	・現代農業の特色についてフードシステムの観点から、またグローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ、アジアを例にしながら多面的・多角的に考察している。	・現代農業の特色についてフードシステムの観点から、またグローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ、アジアを例にしながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、グラフや写真を用いて、現代農業の特色についてフードシステムの観点から把握するとともに、グローバル化に伴う農業地域の変容についてアメリカ、アジアを例に理解する。
	4 拡大する世界の農産物流通			・主題図や模式図、グラフや写真を用いて、世界の農産物流通の特徴について小麦、米、畜産物、野菜を例にしながら多面的・多角的に考察している。	・世界の農産物流通の特徴について小麦、米、畜産物、野菜を例にしながら多面的・多角的に考察している。	・世界の農産物流通の特徴について小麦、米、畜産物、野菜を例にしながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、グラフや写真を用いて、世界の農産物流通の特徴について小麦、米、畜産物、野菜を例に理解する。
	5 世界の林業・水産業			・主題図や模式図、グラフを用いて、森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について理解している。	・森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について多面的・多角的に考察している。	・森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、グラフを用いて、森林資源の分布と役割ならびに林業の現状、水産資源の分布ならびに水産物貿易・保護の現状について理解する。
	6 日本の農林水産業			・主題図や模式図、グラフを用いて、日本の農林水産業の特徴について把握するとともに、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解している。	・日本の農林水産業の特徴や変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから考察している。	・日本の農林水産業の特徴や変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、グラフを用いて、日本の農林水産業の特徴について把握するとともに、変化をもたらす社会的背景について国内外の動向との関わりから理解する。
第3節	食料問題		2	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、世界の食料需給の地域的な偏りが、飢餓や飽食、食料自給率低下といった食料問題を生み出す背景になっていることを理解している。	・食料問題を生み出す背景について世界の食料需給の地域的な偏りとの関わりから考察した上で、問題の解決策について表現している。	・食料問題を生み出す背景について世界の食料需給の地域的な偏りとの関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の食料需給の地域的な偏りが、飢餓や飽食、食料自給率低下といった食料問題を生み出す背景になっていることを理解した上で、問題の解決策について模索する。
	1 食料問題の背景と地域性			・主題図やグラフを用いて、食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から理解している。	・食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野に立脚しながら考察している。	・食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野に立脚しながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、食料の供給・生産・流通における食料問題の地域的相違について地球的視野から理解する。
	2 食料問題の解決に向けて			・主題図やグラフ、写真を用いて、食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解している。	・食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について多面的・多角的に考察している。	・食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、食料増産へ向けた世界的な取り組みの現状と課題、食料不足解消へ向けた国際協力の動向について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
	3 日本の食料問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について多面的・多角的に理解している。	・自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について多面的・多角的に考察している。	・自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、自給率低下、安定供給、安全性という観点から、日本の食料問題について多面的・多角的に理解する。
第4節	エネルギーと鉱産資源	9月	2	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、資源の分布や消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。	・資源の国際取引を成立させている背景について資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから考察した上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策によって生じる国際対立の解決策について表現している。	・資源の国際取引を成立させている背景について資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○資源の分布や消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解する。
	1 世界のエネルギー需要			・主題図やグラフを用いて、暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について多面的・多角的に理解している。	・暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について多面的・多角的に考察する。	・暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、暮らしを支えるエネルギーの重要性、需要の高まりによって生じる問題点について多面的・多角的に理解する。
	2 化石燃料			・主題図やグラフを用いて、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について多面的・多角的に理解している。	・石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について多面的・多角的に考察している。	・石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料の生産・消費と貿易の現状、世界における近年のエネルギー事情の動向について多面的・多角的に理解する。
	3 電力生産			・主題図や模式図を用いて各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基に、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から理解している。	・各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基に、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から考察している。	・各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基に、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図を用いて各種電力生産の特徴と課題への深い理解を基に、効率的な電力供給へ向けた取り組みについて、持続可能性という観点から理解する。
	4 金属資源			・主題図やグラフを用いて、工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解している。	・工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから考察している。	・工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、工業発展に不可欠な金属資源の重要性とそれを取り巻く国際情勢について、鉄鉱石と非鉄金属、レアメタルそれぞれの生産・消費の動向との関わりから理解する。
第5節	資源・エネルギー問題		2	・主題図やグラフなどを用いて、化石燃料への依存度を減らし、再生可能エネルギーの普及を進めていくことは、地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障上、重要であることを理解している。	・地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障の観点から、再生可能エネルギーの普及のあり方について多面的・多角的に考察している。	・地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障の観点から、再生可能エネルギーの普及のあり方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○化石燃料への依存度を減らし、再生可能エネルギーの普及を進めていくことは、地球温暖化の緩和やエネルギー安全保障上、重要であることを理解する
	1 化石燃料への依存と国家間の対立			・グラフを用いて、化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について理解している。	・化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について多面的・多角的に考察している。	・化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○グラフを用いて、化石燃料の大量消費に伴い生じる資源の枯渇や環境問題、石油戦略に関わる国際政治の動向について理解する。
	2 化石燃料から再生可能エネルギーへ			・グラフを用いて、地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて多面的・多角的に理解している。	・地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて多面的・多角的に考察している。	・地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○グラフを用いて、地球の持続可能性という観点から望ましいエネルギー政策の実現へ向けた取り組みについて多面的・多角的に理解する。
	3 日本の資源・エネルギー問題			・主題図やグラフを用いて、わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について理解している。	・わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について多面的・多角的に考察している。	・わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、わが国における資源・エネルギーの高い輸入依存度を脱却し、自給率向上を目指す取り組みや、新たな資源開発の動向について理解する。
第6節	工業の立地と工業地域の変容		6	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約化の進む工業の新しい展開や、日本の工業の変化と課題について理解している。	・工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から考察するとともに、知識集約化の進む工業の新しい展開や、日本の工業の変化と課題について多面的・多角的に表現している。	・工業立地の特徴とその変化の動向とともに、知識集約化の進む工業の新しい展開や、日本の工業の変化と課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○工業立地の特徴とその変化の動向について、業種の違いや国際分業との関係から把握するとともに、知識集約化の進む工業の新しい展開や、日本の工業の変化と課題について理解する。
	1 工業の立地と工業地域			・主題図や模式図、写真を用いて、工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について理解している。	・工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について多面的・多角的に考察している。	・工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、工業の立地条件が複数の類型に区分できること、立地条件が時代とともに変化する背景や要因、もたらされる課題について理解する。
	2 繊維・鉄鋼・石油化学			・主題図やグラフを用いて、繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について理解している。	・繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について多面的・多角的に考察している。	・繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、繊維・鉄鋼・石油化学を事例に、各々の工業における立地の特徴と近年の変化の動向について理解する。
	3 自動車・エレクトロニクス			・主題図やグラフを用いて、自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について理解している。	・自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について多面的・多角的に考察している。	・自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、自動車とエレクトロニクスを事例に、多国籍企業による工業立地の特徴と国際分業体制について理解する。
	4 新しい技術と工業			・主題図やグラフ、写真を用いて、ICTの導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について理解している。	・ICTの導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について多面的・多角的に考察している。	・ICTの導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ICTの導入によって工業のスマート化が進行している現状とそれによってもたらされる諸課題について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	5 グローバル化と工業地域の再編			・主題図や模式図、写真を用いて、グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について理解している。	・グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について多面的・多角的に考察している。	・グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、グローバル化の進展によって進行している工業地域の再編とそれによってもたらされる諸課題について理解する。
	6 工業の知識集約化			・主題図やグラフ、写真を用いて、工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について理解している。	・工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について多面的・多角的に考察している。	・工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、工業の知識集約化に伴う特定地域における産業の集積とネットワーク形成の動向について理解する。
	7 日本の工業とその変容			・主題図やグラフ、写真を用いて、高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について理解している。	・高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について多面的・多角的に考察している。	・高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、高度経済成長期から現在に至るまでの日本の工業の変遷と最近の動向について理解する。
第7節	第三次産業		2	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、第三次産業の特徴や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信業の集積、医療・福祉産業の国による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解している。	・第三次産業の特徴や変化について考察するとともに、流通産業の発達や情報通信業の集積、医療・福祉産業の国による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について表現している。	・第三次産業の特徴や変化、流通産業の発達や情報通信業の集積、医療・福祉産業の国による違いについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○第三次産業の特徴や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信業の集積、医療・福祉産業の国による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解する。
	1 サービス経済化の進展と流通産業の発達			・主題図やグラフ、写真を用いて、サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態、それによって生じる小売業立地の変化について理解している。	・サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態やそれによって生じる小売業立地の変化について多面的・多角的に考察している。	・サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態やそれによって生じる小売業立地の変化について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、サービス経済化の進展を支える流通産業の発達や消費者行動の変化の実態、それによって生じる小売業立地の変化について理解する。
	2 情報通信業とその集積			・主題図やグラフ、写真を用いて、情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について理解している。	・情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について多面的・多角的に考察している。	・情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、情報通信業の急速な発展の背景と国内外における立地の特性について理解する。
	3 医療・福祉産業の課題			・主題図やグラフ、写真を用いて、医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について理解している。	・医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について多面的・多角的に考察している。	・医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、医療・福祉産業拡大の背景や地域格差の実態、保育サービスに焦点を当てた国際比較の現状について理解する。
第1編第3章 第1節	交通・通信	10月	2	・主題図や模式図、グラフや写真などを用いて、交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。	・交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて考察するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。	・交通・通信の発達による世界の結び付きの現状、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解する。
	1 交通の発達(1)			・グラフや写真を用いて、移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことが、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解している。	・移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことが、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について多面的・多角的に考察している。	・移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことが、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○グラフや写真を用いて、移動手段の発展が時間距離の短縮につながり、グローバル化を促したことが、その一端を担う陸上・水上両交通の特徴について理解する。
	2 交通の発達(2)			・主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について多面的に理解している。	・航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について多面的に考察した上で、環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について表現している。	・航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、航空を含めた交通の発達をもたらす利点と問題点について多面的に理解した上で、環境負荷を減らすための新たな交通のあり方について検討する。
	3 情報通信産業の発達			・主題図やグラフ、模式図を用いて、情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について理解している。	・情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について多面的・多角的に考察している。	・情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、情報通信技術の発達が高度情報化社会をもたらしたことを前提に、そのような社会が進展することによる利点と問題点について理解する。
第2節	貿易と経済連携		2	・主題図や模式図、グラフなどを用いて、貿易の発達が世界をグローバルにまたは地域ごとに結び付けてきたことを把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。	・貿易の発達が世界をグローバルにまたは地域ごとに結び付けてきたことを考察するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。	・貿易の発達による世界の結び付きや、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○貿易の発達が世界をグローバルにまたは地域ごとに結び付けてきたことを把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解する。
	1 貿易の自由化と経済連携			・主題図やグラフ、模式図を用いて、自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解している。	・自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について多面的・多角的に考察している。	・自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、自由貿易が促進された背景やそれに伴いもたらされた世界規模での経済連携拡大の状況について理解する。
	2 現代貿易の課題			・主題図やグラフを用いて、現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解している。	・現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に考察している。	・現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、現代の貿易が抱える課題について世界レベル、国内レベル各々の視点から多面的・多角的に理解する。
第3節	観光		2	・主題図やグラフなどを用いて、観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。	・観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから考察するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。	・観光の地理的展開とそれによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○観光の地理的展開について交通・通信の発達や地域特性、多様な形態との関わりから把握するとともに、それによって生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	1 観光の発達と地理的展開			・主題図やグラフを用いて、観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について多面的・多角的に理解している。	・観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について多面的・多角的に考察している。	・観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、観光産業発達の背景と動向、その地理的展開の特徴について多面的・多角的に理解する。
	2 さまざまな観光			・主題図やグラフを用いて、時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることを踏まえ、日本における観光の変化の動向について理解している。	・時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることを踏まえ、日本における観光の変化の動向について多面的・多角的に考察している。	・時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることを踏まえ、日本における観光の変化の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、時代の変化とともに観光そのものが世界規模において多様化していることを踏まえ、日本における観光の変化の動向について理解する。
第1編第4章 第1節	人口		2	・主題図やグラフなどを用いて、人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに、それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解している。	・人口分布と人口増加の地域的傾向とそれらに影響を与える人口転換や人口移動について多面的・多角的に考察している。	・人口分布と人口増加の地域的傾向とそれらに影響を与える人口転換や人口移動について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに、それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解する。
	1 世界の人口分布と人口増加			・主題図やグラフを用いて、世界の人口分布の特徴とその背景について多面的・多角的に理解している。	・世界の人口分布の特徴とその背景を踏まえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について多面的・多角的に考察している。	・地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、世界の人口分布の特徴とその背景を踏まえた上で、地球規模での人口増加の変遷とその要因、今後の予測について模索する。
	2 人口動態と人口ピラミッド			・グラフを用いて、人口動態の推移について把握するとともに、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について理解している。	・人口動態の推移について考察するとともに、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について表現している。	・各国の人口ピラミッドの読み取りを通してその国の置かれた社会状況について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○グラフを用いて、人口動態の推移について把握するとともに、各国の人口ピラミッドを作成することで、その国の置かれた社会状況について理解する。
	3 人口移動の変遷と今日の姿			・主題図やグラフを用いて、地球規模での人口移動の変遷について把握するとともに、労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について理解している。	・地球規模での人口移動の変遷を踏まえた上で、労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について多面的・多角的に考察している。	・労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、地球規模での人口移動の変遷について把握するとともに、労働者と難民を事例に人口移動の特徴とその社会的背景について理解する。
第2節	人口問題		2	・主題図やグラフ、写真などを用いて、発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。	・発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について考察するとともに、有効な解決策についての的確に表現している。	・発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題とその解決策について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について理解した上で、有効な解決策について模索する。
	1 発展途上国の人口問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について多面的・多角的に理解している。	・発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について考察するとともに、問題解決へ向けての国際協力のあり方についての的確に表現している。	・発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響と、問題解決へ向けての国際協力のあり方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、発展途上国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について把握するとともに、問題解決へ向けての国際協力のあり方について理解する。
	2 先進国の人口問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について多面的・多角的に理解している。	・先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について考察するとともに、それらを克服するための取り組みについての的確に表現している。	・先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響と、それらを克服するための取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、先進国が抱える人口問題の特徴とその背景・要因、もたらされる影響について把握するとともに、それらを克服するための取り組みについて理解する。
第3節	村落・都市	11月	2	・航空写真や地形図、主題図やグラフ、模式図などを用いて、村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム、都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。	・村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム、都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に考察している。	・村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム、都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システムについて把握するとともに、都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について理解する。
	1 村落の機能と形態			・航空写真や地形図を用いて、村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について理解している。	・村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について多面的・多角的に考察している。	・村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○航空写真や地形図を用いて、村落の機能と立地要因、形態の特徴や成立条件についての理解をもとに、近年の村落の変化の状況と抱えている課題について認識を深める。
	2 都市の機能と都市システム			・主題図やグラフを用いて、都市機能の拡充過程を踏まえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから把握するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きについて理解している。	・都市機能の拡充過程を踏まえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから考察するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きについての的確に表現している。	・都市システムが形成される背景、近年の都市間競争の活発化に伴う世界都市を目指す動きについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、都市機能の拡充過程を踏まえ、都市システムが形成される背景について、その階層性との関わりから把握するとともに、近年の都市間競争の活発化により、世界都市を目指す動きについて理解する。
	3 都市の内部構造と大都市圏			・主題図や模式図を用いて、都市の成長拡大に伴う内部構造の複雑化について考察するとともに、都市圏の広がりが段階的な発展をたどっていることを理解している。	・都市の成長拡大に伴う内部構造の複雑化について考察するとともに、都市圏の広がりが段階的な発展をたどっていることを的確に表現している。	・都市の成長拡大に伴う内部構造の複雑化、都市圏の広がりの段階的発展について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図を用いて、都市の成長拡大によってその内部構造が複雑化すること、都市圏の広がりが段階的な発展をたどっていることを理解する。
第4節	居住・都市問題		2	・主題図やグラフ、写真や模式図などを用いて、発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について理解している。	・発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きについて考察するとともに、日本の都市が直面している課題についての的確に表現している。	・発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きについて把握するとともに、日本の都市が直面している課題について理解する。
	1 発展途上国の居住・都市問題			・主題図やグラフ、模式図を用いて、発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について、ジャカルタを事例に多面的・多角的に理解している。	・発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について、ジャカルタを事例に多面的・多角的に考察している。	・発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、模式図を用いて、発展途上国における都市化の過程とそれに伴って生じる居住・都市問題について、ジャカルタを事例に多面的・多角的に理解する。
	2 先進国の居住・都市問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解している。	・先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景について考察するとともに、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについての的確に表現している。	・先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、先進国における都市の衰退現象に伴う問題点とそれをもたらした社会的背景、より良い居住環境の創造へ向けた取り組みについて理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	3 日本の居住・都市問題			・主題図や写真を用いて、日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題、解決への取り組みについて多面的・多角的に理解している。	・日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題について考察するとともに、解決への取り組みについての確に表現している。	・日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題、解決への取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や写真を用いて、日本の都市が直面している一極集中や都市の縮退などの諸問題、解決への取り組みについて多面的・多角的に理解する。
第1編第5章 第1節	生活文化の地域性		2	・主題図や写真などを用いて、文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することを理解している。	・文化と環境との相互関係や文化が変容する理由、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することを、多面的・多角的に考察している。	・文化と環境との相互関係や文化が変容する理由、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に変容することを理解する。
	1 文化と環境			・主題図や写真を用いて、文化についての定義を踏まえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について多面的・多角的に理解している。	・文化についての定義を踏まえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について多面的・多角的に考察している。	・世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や写真を用いて、文化についての定義を踏まえ、世界諸地域における文化の形成過程と変容過程について多面的・多角的に理解する。
	2 世界の食生活			・主題図や写真を用いて、食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に理解している。	・食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に考察している。	・食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や写真を用いて、食文化が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に理解する。
	3 世界の住居・衣服			・主題図や写真を用いて、住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に理解している。	・住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に考察している。	・住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や写真を用いて、住居や衣服が地域によって異なる要因や、それが変容する過程について多面的・多角的に理解する。
第2節	民族・言語・宗教		2	・主題図や写真などを用いて、民族・言語・国家の相互関係について把握するとともに、文化としての宗教とその多様性について理解している。	・民族・言語・国家の相互関係について考察するとともに、文化としての宗教とその多様性についての確に表現している。	・民族・言語・国家の相互関係、文化としての宗教とその多様性について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族・言語・国家の相互関係について把握するとともに、文化としての宗教とその多様性について理解する。
	1 世界の民族と言語			・主題図を用いて、民族についての定義を踏まえ、言語や国家との相互関係について多面的・多角的に理解している。	・民族についての定義を踏まえ、言語や国家との相互関係について多面的・多角的に考察している。	・民族についての定義を踏まえ、言語や国家との相互関係について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、民族についての定義を踏まえ、言語や国家との相互関係について多面的・多角的に理解する。
	2 世界の宗教			・主題図や写真を用いて、世界の宗教分布の特徴とその形成過程を踏まえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解している。	・世界の宗教分布の特徴とその形成過程を踏まえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について多面的・多角的に考察している。	・世界の宗教分布の特徴とその形成過程を踏まえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や写真を用いて、世界の宗教分布の特徴とその形成過程を踏まえ、宗教を軸にした世界の文化的多様性について理解する。
第3節	民族問題		2	・主題図などを用いて、民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因について多面的・多角的に理解する。	・民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因について多面的・多角的に理解するとともに、自分たちができる問題解決へ向けての取り組みについての確に表現する。	・民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因や問題解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族紛争や難民発生の背景となるさまざまな要因について理解するとともに、自分たちができる問題解決へ向けての取り組みについて模索する。
	1 世界の多様な民族問題			・主題図を用いて、世界各地で生じている民族問題の背景について国家や宗教との関わりから理解している。	・世界各地で生じている民族問題の背景について国家や宗教との関わりから考察している。	・世界各地で生じている民族問題の背景について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、世界各地で生じている民族問題の背景について国家や宗教との関わりから理解する。
	2 紛争と難民			・主題図を用いて、世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について多面的・多角的に理解している。	・世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について多面的・多角的に考察している。	・世界各地で生じている民族紛争や難民問題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、世界各地で生じている民族紛争や難民問題が生じる社会的背景について多面的・多角的に理解する。
	3 民族問題をどう乗りこえるか			・主題図を用いて、民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について、具体的事例をもとに多面的・多角的に理解している。	・民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について、具体的事例をもとに多面的・多角的に考察している。	・民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、民族紛争や難民問題の解決へ向けた取り組みと課題について、具体的事例をもとに理解する。
第4節	現代の国家と領土問題		2	・主題図や模式図、写真などを用いて、国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて理解している。	・国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて考察している。	・国家領域や領土をめぐる問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて模索する。
	1 国家の領域と国境線			・主題図や模式図、写真を用いて、国家の領域や国境の概念について具体例をもとに理解している。	・国家の領域や国境の概念について具体例をもとに考察している。	・国家の領域や国境の概念について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、国家の領域や国境の概念について具体例をもとに理解する。
	2 領土問題の要因と解決への取り組み			・主題図を用いて、日本を含めた領土問題の発生要因について多面的・多角的に理解している。	・日本を含めた領土問題の発生要因について考察するとともに、その解決策についての確に表現している。	・日本を含めた領土問題の発生要因とその解決策について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、日本を含めた領土問題の発生要因への理解をもとに、その解決策について多面的・多角的に理解する。
第2編第1章 第1節	地域区分の意義と方法	12月	1	・主題図などを用いて、地域区分の方法や地域概念、地域区分の意義について理解している。	・地域の共通点や差異、分布などに着目して、地域のとらえ方について多面的・多角的に考察している。	・地域の共通点や差異、分布などに着目して、地域のとらえ方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地域区分の方法や地域概念、地域区分の意義についての理解を前提に、地域の共通点や差異、分布などに着目して、地域のとらえ方について多面的・多角的に考察する。
	1 地域区分の意義			・主題図を用いて、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解している。	・さまざまな指標を用いた地域区分の意義について適切に表現している。	・地域区分の意義について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、さまざまな指標によって地域を区分することの意義について理解する。
	2 さまざまな地域区分の方法			・さまざまな指標を用いて、地域を区分する方法について理解している。	・さまざまな指標を用いた地域区分の方法について適切に表現している。	・地域区分の方法について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、さまざまな指標によって地域を区分する方法について理解する。
	3 地域の考察方法			・主題図を用いて、これから学習する世界の諸地域について、地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法について理解している。	・世界諸地域の地域的特色をとらえるための地誌的方法についての確に表現している。	・世界諸地域の地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、これから学習する世界の諸地域について、地域的特色をとらえるために適切な地誌的方法について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
第2編第2章 第1節	東アジア一項目ごとに整理して考察する一		4	・主題図やグラフ、写真などを用いて、中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理し、考察している。	・中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 中国の改革開放と急速に進む工業化			・主題図やグラフ、写真を用いて、改革開放政策に伴い急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解している。	・改革開放政策に伴い急速に進む中国の工業化とそれによる影響について多面的・多角的に考察している。	・改革開放政策に伴い急速に進む中国の工業化とそれによる影響について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、改革・開放政策に伴い急速に進む中国の工業化とそれによる影響について理解する。
	2 中国の農業・農村の近代化と都市化			・主題図やグラフ、写真を用いて、改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について具体的事例をもとに理解している。	・改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について具体的事例をもとに考察している。	・改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、改革開放政策に伴いもたらされた中国の農業の近代化とその動向、都市化の現状とそれに伴い生じる諸問題について具体的事例をもとに理解する。
	3 環境問題などの課題			・主題図やグラフ、写真を用いて、中国国内の多様な民族構成、経済成長に伴い変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて理解している。	・中国国内の多様な民族構成、経済成長に伴い変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて多面的・多角的に考察している。	・中国国内の多様な民族構成、経済成長に伴い変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、中国国内の多様な民族構成、経済成長に伴い変化する人々の生活、深刻化する環境問題や経済格差の現状とその取り組みについて理解する。
	4 経済成長により広がる中国の影響			・主題図やグラフ、写真を用いて、国際社会における中国の影響について産業面や資源獲得競争、外交政策の面から理解している。	・国際社会における中国の影響について産業面や資源獲得競争、外交政策の面から考察している。	・国際社会における中国の影響について産業面や資源獲得競争、外交政策の面から関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、国際社会における中国の影響について産業面や資源獲得競争、外交政策の面から理解する。
	5 韓国の経済成長と地域構造			・主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解している。	・経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて多面的・多角的に考察している。	・経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長に伴う韓国の産業立地の特性や地域構造の変化、それに伴って生じる経済格差やソウル一極集中の問題、解決へ向けての取り組みについて理解する。
6 韓国の都市・農村の変化と生活文化			・写真を用いて、工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相、国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解している。	・工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相、国内の生活文化の特徴と変化の動向について多面的・多角的に考察している。	・工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相、国内の生活文化の特徴と変化の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○写真を用いて、工業化に伴う韓国の都市化の進展と農村における変化の様相、国内の生活文化の特徴と変化の動向について理解する。	
第2節	東南アジア一項目ごとに整理して考察する一		3	・主題図やグラフ、写真などを用いて、東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理し、考察している。	・東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○東南アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 東南アジアの多様な文化			・主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に理解している。	・東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に考察している。	・東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの文化の多様性や共通性について言語、宗教を切り口に理解する。
	2 東南アジアの地域性と農業			・主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解している。	・東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について考察している。	・東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、東南アジアの地域性の特徴とそれを土台に成立した商業的農業の動向について理解する。
	3 ASEANの政治と経済発展			・主題図やグラフを用いて、ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向についてタイとマレーシアを事例に理解している。	・ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向についてタイとマレーシアを事例に多面的・多角的に考察している。	・ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向についてタイとマレーシアを事例に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、ASEANの協働体制の特徴と工業化の動向についてタイとマレーシアを事例に理解する。
4 国家間の格差などの課題			・写真を用いて、東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解している。	・東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化している現状について多面的・多角的に考察している。	・東南アジアの経済発展による先端産業の振興とそれに伴う国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化している現状について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○写真を用いて、東南アジアの経済発展による先端産業の振興の一方で、国家間、民族間、都市・農村間での格差が深刻化していることを理解する。	
第3節	南アジア一経済成長に着目する一	1月	3	・主題図やグラフ、写真などを用いて、インドを中心とした南アジアにおける経済成長に着目して、人口増加と農村の変化、都市化と社会の変化などの事象と関連づけることを通して地域理解を深めている。	・インドを中心とした南アジアにおける経済成長に着目して、人口増加と農村の変化、都市化と社会の変化などの事象と関連づけることを通して考察している。	・インドを中心とした南アジアにおける経済成長に関わる人口増加と農村の変化、都市化と社会の変化などの事象について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○インドを中心とした南アジアにおける経済成長に着目して、人口増加と農村の変化、都市化と社会の変化などの事象と関連づけることを通して地域理解を深める。
	1 グローバル化と南アジアの経済発展			・主題図やグラフ、写真を用いて、南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから理解している。	・南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから考察している。	・南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、南アジアにおける経済自由化や産業開発、工業化の進展についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから理解する。
	2 大都市の形成と格差の問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長や都市化に伴うインド社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら理解している。	・経済成長や都市化に伴うインド社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら多面的・多角的に考察している。	・経済成長や都市化に伴うインド社会の変化について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、経済成長や都市化に伴うインド社会の変化についてメリットとデメリットに区分しながら理解する。
3 インドの人口増加と農村の変化			・主題図やグラフを用いて、インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について多面的・多角的に理解している。	・インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について多面的・多角的に考察している。	・インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、インドにおける人口急増、農業の発展、農村社会の変化の背景について多面的・多角的に理解する。	

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	4 南アジア世界の多様性と統一性			・主題図やグラフ、写真を用いて、南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に把握するとともに、地域間協力の現況について具体的事例をもとに理解している。	・南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に把握するとともに、地域間協力の現況について具体的事例をもとに多面的・多角的に理解している。	・南アジア世界の多様性と共通性や地域間協力の現況について具体的事例をもとに関心と課題意識を高め、関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、南アジア世界の多様性と共通性について文化を指標に把握するとともに、地域間協力の現況について具体的事例をもとに理解する。
第4節	西アジアと中央アジア二つの地域を比較する一		2	・主題図やグラフ、模式図や写真などを用いて、西アジアと中央アジアの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解している。	・西アジアと中央アジアの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について多面的・多角的に考察している。	・西アジアと中央アジア各々の地域の特徴について、共通点と相違点に着目しながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○西アジアと中央アジアの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解する。
	1 交易の歴史と人々の生活			・写真を用いて、シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯を踏まえるとともに、両地域における人々の生活の特徴について農業を軸に理解している。	・シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯を踏まえるとともに、両地域における人々の生活の特徴について農業を軸に考察している。	・シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアにおける人々の生活の特徴について農業を軸に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○写真を用いて、シルクロードにおける交易を中心に発展していった西アジアと中央アジアの歴史的経緯を踏まえるとともに、両地域における人々の生活の特徴について農業を軸に理解する。
	2 乾燥地に適応した生活文化と宗教			○主題図や模式図、グラフや写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に理解している。	・西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に考察している。	・西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、グラフや写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、生活文化と宗教を指標に理解する。
	3 資源開発にみられる二つの地域の違い			・主題図やグラフ、写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に理解する。	・西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に考察している。	・西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、西アジアと中央アジアの共通点と相違点について、資源開発と産業を指標に理解する。
第5節	北アフリカとサハラ以南アフリカ二つの地域を比較する一		2	・主題図やグラフ、写真などを用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について多面的・多角的に理解している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域の特徴について、共通点と相違点に着目しながら関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解する。
	1 多様な文化の成り立ち			・主題図を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業と文化を指標に理解している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業と文化を指標に考察している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、歴史、生業と文化を指標に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について歴史、生業と文化を指標に理解する。
	2 モノカルチャー経済克服の課題			・主題図やグラフ、写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について経済、産業を指標に理解している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について経済、産業を指標に考察している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について、経済、産業を指標に関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点について経済、産業を指標に理解する。
	3 アフリカの発展と新たな課題			・グラフや写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて多面的・多角的に考察している。	・北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○グラフや写真を用いて、北アフリカとサハラ以南アフリカ諸国における発展の状況や他地域との結びつきについて理解する。
第6節	ヨーロッパ地域統合に着目する一		3	・主題図やグラフ、写真などを用いて、ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通して地域理解を深めている。	・ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通して考察している。	・ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通して地域理解を深める。
	1 ヨーロッパ統合の流れ			・主題図を用いて、ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について理解している。	・ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について多面的・多角的に考察している。	・ヨーロッパ統合が進む背景について、民族と宗教との関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図を用いて、ヨーロッパ統合が進む背景について民族と宗教との関わりから理解するとともに、統合へ向けての歴史の変遷について理解する。
	2 ヨーロッパの農業とその変容			・主題図やグラフを用いて、ヨーロッパにおける農業の多様性と現状を踏まえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて理解している。	・ヨーロッパにおける農業の多様性と現状を踏まえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて多面的・多角的に考察している。	・EUの共通農業政策の動きについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、ヨーロッパにおける農業の多様性と現状を踏まえ、EUの共通農業政策の特徴とそれがもたらした課題と見直しの動きについて理解する。
	3 ヨーロッパの産業とその変容			・主題図やグラフ、写真を用いて、ヨーロッパにおける産業の変容について工業の多極化、サービス経済化を指標に理解している。	・ヨーロッパにおける産業の変容について工業の多極化、サービス経済化を指標に考察している。	・ヨーロッパにおける産業の変容について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ヨーロッパにおける産業の変容について工業の多極化、サービス経済化を指標に理解する。
	4 EUの拡大と地域格差			・主題図やグラフ、写真を用いて、EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされる課題、対外関係とそれに関わる課題について理解している。	・EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされる課題、対外関係とそれに関わる課題について多面的・多角的に考察している。	・EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされる課題、対外関係とそれに関わる課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、EUの東方拡大の背景とそれによりもたらされる課題、対外関係とそれに関わる課題について理解する。
	5 揺らぐ「一つのヨーロッパ」			・主題図やグラフ、写真を用いて、イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題、その克服へ向けた国家間の協力関係について理解している。	・イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題、その克服へ向けた国家間の協力関係について多面的・多角的に考察している。	・イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題、その克服へ向けた国家間の協力関係について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、イギリスのEU離脱を切り口に、EUが抱えている諸課題、その克服へ向けた国家間の協力関係について理解する。
第7節	ロシア一項目ごとに整理して考察する一	2月	2	・主題図やグラフ、写真などを用いて、ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理し、考察している。	・ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化などの地理的事象について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 多様な民族と宗教			・主題図やグラフ、写真を用いて、ロシア国内の多様な民族、宗教、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土などの問題について理解している。	・ロシア国内の多様な民族、宗教について把握するとともに、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について多面的・多角的に考察している。	・ロシア国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシア国内の多様な民族、宗教について把握するとともに、国内における民族問題や周辺諸国との間に抱える領土問題について理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能 (評価の方法)	思考・判断・表現 (評価の方法)	主体的に学習に取り組む態度 (評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	2 ポスト社会主義時代の暮らし			・主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について多面的・多角的に理解している。	・ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について多面的・多角的に考察している。	・ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアでの市場経済への移行に伴う経済、社会、人々の暮らしにおける変化の動向について理解する。
	3 周辺国との産業・資源をめぐる関係の変化			・主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について把握するとともに、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について理解している。	・ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について把握するとともに、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について多面的・多角的に考察している。	・ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴や近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について把握するとともに、近年の産業地域の変化とそれに伴い生じている地域格差の問題について理解する。
第8節	アングロアメリカ項目ごとに整理して考察する一		3	・主題図やグラフ、写真などを用いて、アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族、経済、産業の発展と変容、情報社会と大都市圏など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族、経済、産業の発展と変容、情報社会と大都市圏など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。	・アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族、経済、産業の発展と変容、情報社会と大都市圏などの地理的事象について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○アメリカ合衆国を中心としたアングロアメリカにおける自然環境と歴史・民族、経済、産業の発展と変容、情報社会と大都市圏など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 アングロアメリカの農業			・主題図と写真を用いて、アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解している。	・アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について多面的・多角的に考察している。	・アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図と写真を用いて、アングロアメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について理解する。
	2 多民族社会がかかえる問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえて理解している。	・アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえて多面的・多角的に考察している。	・アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの特色である多民族・多文化社会の形成過程について歴史的背景を踏まえて理解する。
	3 世界最大のアングロアメリカ経済			・グラフ、写真を用いて、アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について先端技術、金融、鉱産資源の側面から把握するとともに、置かれている課題について理解している。	・アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について先端技術、金融、鉱産資源の側面から把握するとともに、置かれている課題について考察している。	・世界最大と位置づけられているアングロアメリカの経済と置かれている課題について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○グラフ、写真を用いて、アングロアメリカの経済が世界最大と位置づけられる社会的背景について先端技術、金融、鉱産資源の側面から把握するとともに、置かれている課題について理解する。
	4 先端産業の発展と鉱工業地域の変化			・主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解している。	・アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから多面的・多角的に考察している。	・アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから理解する。
	5 情報社会に移行する大都市圏			・主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について多面的・多角的に理解している。	・アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について多面的・多角的に考察している。	・アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、アングロアメリカにおける情報社会と就業構造の変化に伴う大都市圏の拡大と変容の様相について多面的・多角的に理解する。
第9節	ラテンアメリカ項目ごとに整理して考察する一		2	・主題図やグラフ、写真などを用いて、ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。	・ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○ラテンアメリカにおける自然環境や歴史・文化、産業、開発などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 ラテンアメリカの成り立ち			・主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえながら理解している。	・ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえながら多面的・多角的に考察している。	・ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえながら多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの文化の形成の経緯について歴史的背景を踏まえながら理解する。
	2 ラテンアメリカの産業の発展と経済成長			・主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの産業の発達の変遷について農業、工業の両面から把握するとともに、グローバル化と地域統合が進む現在の状況について理解している。	・ラテンアメリカの産業の発達の変遷について農業、工業の両面から把握するとともに、グローバル化と地域統合が進む現在の状況について多面的・多角的に考察している。	・ラテンアメリカの産業の発達の変遷やグローバル化と地域統合が進む現在の状況について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカの産業の発達の変遷について農業、工業の両面から把握するとともに、グローバル化と地域統合が進む現在の状況について理解する。
	3 森林破壊などの問題			・主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について把握するとともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解している。	・ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について把握するとともに、同地域の移民社会としての特徴について多面的・多角的に考察している。	・ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題、同地域の移民社会としての特徴について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、ラテンアメリカにおける開発や都市化の現状とその進展によって生じる諸課題について把握するとともに、同地域の移民社会としての特徴についても多面的・多角的に理解する。
第10節	オセアニア項目ごとに整理して考察する一		2	・主題図やグラフ、写真や模式図などを用いて、オーストラリアやニュージーランドを中心とするオセアニアの気候や農業の特徴、先住民と移民の生活、ヨーロッパやアジアとの関係などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。	・オーストラリアやニュージーランドを中心とするオセアニアの気候や農業の特徴、先住民と移民の生活、ヨーロッパやアジアとの関係などのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。	・オーストラリアやニュージーランドを中心とするオセアニアの気候や農業の特徴、先住民と移民の生活、ヨーロッパやアジアとの関係などのさまざまな地理的事象について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○オーストラリアやニュージーランドを中心とするオセアニアの気候や農業の特徴、先住民と移民の生活、ヨーロッパやアジアとのさまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深める。
	1 多文化共生の課題			・主題図やグラフを用いて、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解している。	・オーストラリアやニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから考察している。	・オーストラリアやニュージーランドの多文化社会の形成過程について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会の形成過程について、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから理解する。
	2 オセアニアの資源と産業			・主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に理解している。	・オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に考察している。	・オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に考察し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、模式図や写真を用いて、オーストラリアやニュージーランドにおける鉱産資源や農業の特徴や位置づけとその重要性について多面的・多角的に理解する。

単元番号	単元名	実施月	単元の時数	評価規準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	
				定期テスト	定期テスト(論述問題など) レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	
	3 オセアニアと他地域との結び付き			・主題図やグラフ、写真を用いて、オーストラリア、ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目しながら理解している。	・オーストラリア、ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	・オーストラリア、ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、写真を用いて、オーストラリア、ニュージーランドと環太平洋地域との経済的な結びつきについて貿易と観光に着目しながら理解する。
	北極・南極			・主題図や模式図、写真を用いて、北極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに、近年の動向について国際社会との関わりから理解している。	・北極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに、近年の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	・北極と南極それぞれの地理的特徴や近年の動向について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図や模式図、写真を用いて、北極と南極それぞれの地理的特徴について把握するとともに、近年の動向について国際社会との関わりから理解する。
第3編第1章第1節	日本の地理的諸課題を読み解く	3月	1	・主題図やグラフ、各種統計資料などを用いて、日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れを理解している。	・日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れに関連するさまざまな資料を読み解くことを通して、日本の抱える地理的課題について探究している。	・日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れ、日本の抱える地理的課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れを理解するとともに、関連するさまざまな資料を読み解くことを通して、日本の抱える地理的課題について探究する。
	1 日本の地域構造			・主題図やグラフを用いて、日本の地域構造の歴史の変遷について把握するとともに、現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について理解している。	・日本の地域構造の歴史の変遷について把握するとともに、現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について考察している。	・日本の地域構造の歴史の変遷、現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフを用いて、日本の地域構造の歴史の変遷について把握するとともに、現代の地域構造の特徴によって生じている地理的諸課題について理解する。
	2 日本の国土政策			・主題図やグラフ、各種統計資料を用いて、日本の国土政策の歴史の変遷について把握するとともに、今後の国土づくりのあり方について、国内における地理的諸課題の現状を踏まえて理解している。	・日本の国土政策の歴史の変遷について把握するとともに、今後の国土づくりのあり方について、国内における地理的諸課題の現状を踏まえて考察している。	・日本の国土政策の歴史の変遷に、今後の国土づくりのあり方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○主題図やグラフ、各種統計資料を用いて、日本の国土政策の歴史の変遷について把握するとともに、今後の国土づくりのあり方について、国内における地理的諸課題の現状を踏まえて理解する。
第2節	持続可能な国土像の探究		2	・「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、地球規模の視点で日本が抱える地理的課題について理解する。	・地球規模の視点で日本が抱える地理的課題とその解決の方向性について考え、これからの日本の持続可能な国土像について探究している。	・日本が抱える地理的課題とその解決の方向性、これからの日本の持続可能な国土像について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地球規模の視点で日本が抱える地理的課題とその解決の方向性について考え、これからの日本の持続可能な国土像について探究する。
	1 課題と仮説の設定			・「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、課題と仮説の設定方法について理解している。	・日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成のあり方について一連の思考・判断・表現のプロセスに沿って考察している。	・日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成のあり方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、課題と仮説の設定方法について理解する。
	2 仮説の検証と考察、さらなる探究へ			・「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、仮説の検証と考察方法、結果をまとめる方法について理解する。	・日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成のあり方について一連の思考・判断・表現のプロセスに沿って考察している。	・日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成のあり方について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	○「主体的・対話的な学習方法」を駆使しながら、日本の抱える地理的諸課題の解決と持続可能な国土形成へ向けた一連の探究プロセスを踏まえるとともに、仮説の検証と考察方法、結果をまとめる方法について理解する。
定期テスト	1 学期中間 1 学期期末 2 学期中間 2 学期期末 3 学期期末	5月 7月 10月 12月 3月		用語の定義や用語相互の関連性などについての出題から、知識・技能の定着の実態を把握する。	記述・論述問題などにより、思考・判断・表現の能力を把握する。		